

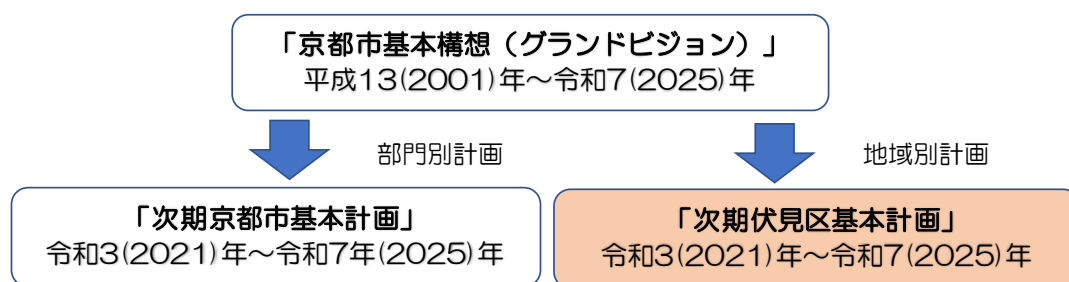
## 次期伏見区基本計画策定方針（案）

## 1 策定の趣旨

- ・ 伏見区のまちづくりの将来像や取組目標等を掲げた現行の「伏見区基本計画」の計画期間が令和2（2020）年度で終了するため、その後継となる「次期伏見区基本計画」を策定する。
- ・ 策定にあたっては、伏見区民、各種団体、事業者等の英知を結集した現行の「伏見区基本計画」の構成（伏見区の将来像など）を継承しつつ、人口減少をはじめ、レジリエンスの重要性の高まり、SDGs（持続可能な開発目標）の国連サミットでの採択など、社会経済情勢の変化を踏まえ、計画内容の進化を図る。

## 2 計画期間

「次期伏見区基本計画」の計画期間は、市政の基本方針を示した「京都市基本構想」の終期とあわせるため、「次期京都市基本計画」と同様に令和3年度（2021年度）から令和7年（2025年）までの5年間とする。



## 3 策定に向けた進め方

- ・ 現行の伏見区基本計画推進区民会議（以下、「区民会議」という。）を「次期伏見区基本計画」の策定に向けた意見集約の場とする。
- ・ 各種団体会議やホームページ等を通じ、区民や各種団体、事業者などから幅広く意見聴取を図る。
- ・ 区民会議の下に「分析調査ワーキング（仮称）」、「地域別ワーキング（仮称）」を置く。

## 【分析調査ワーキング（仮称）】

「次期伏見区基本計画」の策定に向け、今後の伏見区のまちづくりを検討するうえで必要な基礎データを収集するとともに、区民会議の学識者を中心に収集したデータの分析を行い、区民会議へ報告する。

## 【地域別ワーキング（仮称）】

伏見区基本計画の6つの「地域別のまちづくり」について、既存の会議等を活用し、各地域からまちづくりの現状や今後の課題などを聴取し、区民会議へ報告する。

※ 「旧伏見市・竹田・桃山」、「下鳥羽・横大路・納所・淀」、「久我・羽束師」、「向島」、「深草」、「醍醐」の6つの地域

#### 4 今後の日程

##### <令和元年度>

6月3日 第1回区民会議

- ・ 次期伏見区基本計画策定方針（案）について

10月頃 第2回区民会議

- ・ 「次期伏見区基本計画」の策定に向けた基礎データについて
- ・ 「次期伏見区基本計画」の構成について

##### <令和2年度>

5月頃 第1回区民会議

- ・ 「次期伏見区基本計画（骨子案）」について
- ・ 地域別のまちづくりに係る各地域意見の聴取結果の中間報告

9月頃 「次期伏見区基本計画（素案）」に係る区民意見募集（パブコメ）

11月頃 第2回区民会議

- ・ 「次期伏見区基本計画（最終案）」について

1月頃 「次期伏見区基本計画」策定

※ 他区の次期基本計画も同時期に策定予定